

実践記録(小5・理科)

1 ねらい

児童がデジタルコンテンツの視聴を通して、台風と雨量や風の関係について気付きや理解を深める。

2 活用したICTと場面

デジタルコンテンツを視聴することで、台風の動きをつかむ場面。

3 実践の様子

はじめに教科書の台風の写真を拡大表示して、台風の中心の位置や日付をノートに記述させた。【資料1】

その後、地球全体の雲の動きがわかる動画を視聴することで、台風の雲の動きをつかんだ。児童は電子黒板を使って、雲の動きを説明することができた。【資料2】

台風の雲の動きを確認できた児童は、グループに分かれ、台風の進路と雨量や風量の間を話し合った。話し合いでは、風の向きと強さを中心に意見をまとめ、ホワイトボードを使って全体で発表を行った。

最後に過去の気象情報をまとめた動画で風の向きや雨量の変化について確認した。【資料4】

4 成果と課題

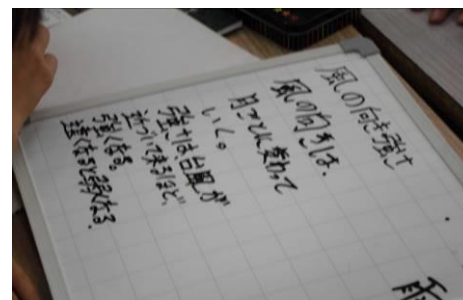
- 台風が近付いた時の天気や風の変り方を動画で捉えたことで、台風と雨量や風の間関係についての理解を深めることができた。
- 視点を「風の向き・強さ」「雨の降る場所・強さ」と与えたことで、話し合い活動に取り組みやすくなった。
- 複数の動画を同時に見せたため、コンテンツ視聴のポイントが絞れず、情報が整理しきれなかった。



【資料1 台風の中心を確認する】



【資料2 雲の動きを説明する児童】



【資料3 話し合いに使った
ホワイトボードへの記述】



【資料4 過去の資料で
確認をする様子】